

史上最年少の19歳6カ月で五冠を達成し、写真に納まる藤井聡太新王将。12日夜、東京都立川市



将棋の藤井聡太四冠(竜王・王位・叡王・棋聖)が渡辺明王将(37)に挑戦した第71期王将戦7番勝負4局は11、12日、東京都立川市で指され、1-1-4手で後手の藤井四冠が勝ち、4勝0敗で王将を奪取し五冠になった。19歳6カ月の5タイトル保持は最年少で史上4人目。八大タイトルの過半数の五冠を獲得し、全冠制覇が視野に入ってきた。(27面に関連記事)

藤井新王将は「今回の7番勝負は持ち時間が8時間と長く、あらためて勉強になった。(五冠は)自分の実力を考えると、出来過ぎの結果だ。今後それに見合う実力をつけていきたい」と話した。

これまでの最年少は1993年、羽生善治九段(5)の22歳10カ月だった。五冠は故大山康晴15名人、中原誠16名人(74)も達成。羽生九段はタイトル戦が七つだった96年に全冠制覇を成し遂げた。

藤井 最年少五冠

19歳6カ月王将奪取

棋戦名	棋士名
竜王 王位	藤井 聡太
叡王 王将	
棋聖	
名人 棋王	渡辺 明
王座	永瀬 拓矢

藤井新王将は7度タイトル戦に出場し、2度の防衛を含め全て制している。2022年度は五つのタイトル防衛を戦いながら、王座と棋王戦で挑戦者を目標とする。名人戦(7番勝負出場)の最短は23年度)以外の最大七冠の可能性がある。昨年は棋聖と王位を初防衛し、叡王を奪取。続く竜王戦7番勝負で豊島将之九段(31)を破り、最も若い四冠になった。

愛知県瀬戸市出身。16年、最年少の14歳2カ月でプロ入り。17年にはデビューから無敗で最多の29連勝。圧倒的な終盤の力を持つ。渡辺前王将は、名人と棋王の二冠に後退した。

出来過ぎの結果だ

藤井聡太新王将の話 形勢判断ができなかった場面が多かった。出来過ぎの結果だ。(全八冠制覇に)少しでも近づければと思う。

名前【 】

- ①藤井聡太四冠がこれまで持っていたタイトルと今回奪取したタイトルを書きましょう。

四冠

今回

- ②今回達成した五冠(5タイトル保持)の最年少記録は何歳ですか。

- ③これまでの最年少記録は誰の何歳ですか。

 の

- ④その人以前に五冠を達成した2人は誰ですか。

- ⑤将棋の8大タイトルのうち残りのタイトルは何を誰が保持していますか。

- ⑥全八冠(8タイトル保持)制覇は最速何年に可能性があるか調べてみよう。